



小児がん サポートグループ

すべてのライオンズクラブは自律的な団体です。つまり、各ライオンズクラブはそれぞれ独立した団体として、地域の法規制に従い独自に行事を実施する責任があります。このプランナーは、推奨を提示することを目的としており、法的な勧告やベストプラクティスとしてみなされるべきではありません。このプランナーで示す活動は、地域社会によっては不適切である場合もあります。法規制や安全基準、ベストプラクティスのすべてに確実に準拠するよう、地域の専門家に相談してください。



小児がん サポートグループ

この事業プランナーは、小児がんの影響を受けている親／保護者を対象とした継続的な月次サポートグループを企画するクラブを支援するためのものです。このようなサポートグループを通して、参加しやすい開放的な環境で当事者間の社会形成を促したり対処戦略を学習できるようにしたりします。

このような事業を実施することで、小児がんの影響を受けている人々が元気に生きられるように支援するというライオンズクラブの戦略ビジョンを後押しすることになります。

早速、イベントの企画を開始してください。

下記空欄に記入して、イベントの詳細を決定しましょう。

目標 » 小児がんの影響を受けている親／保護者を対象とした月次のサポートグループを展開し、明るい環境でディスカッションや社会活動を持てる機会を提供しましょう	実施期間 1～2時間 継続	実施場所 <input type="radio"/> 地域のリクリエーション施設 <input type="radio"/> 学校または教育施設 <input type="radio"/> 非公式（例：宗教的） <input type="radio"/> その他 <hr/>
	企画所要時間 2～4カ月	
	開始／終了日 <hr/>	

参加対象者

行事への参加対象者を選択します。

対象者： <input type="radio"/> 児童 <input type="radio"/> 青少年 <input checked="" type="radio"/> 大人 <input type="radio"/> 上記すべて	主催者： <input type="radio"/> 地域の病院 <input type="radio"/> がん患者ナビゲーター <input type="radio"/> 地域のがん協会 <input type="radio"/> ソーシャルワーカー <input type="radio"/> ピアメンター <input type="radio"/> その他 <hr/>	留意事項：
--	--	----------------------

事業に必要なすべてのタスクを特定します。

計画の際は、楽しいだけでなく教育的に有用なイベントを企画するよう心がけてください。事業には下記の3つのタスクを必ず取り入れます。

1. 教育スピーカーや資料を特定します。

- » ゲストスピーカーの例として、地域のがん基金の代表者、小児がん専門医、がん科看護師、ピアメンター、ソーシャルワーカー、心理士が挙げられます。
- » 資料は、小児がん治療センターや、小児がん養護団体、小児がん患者向けキャンプ場、小児がんの影響を受けている家族にサービスを提供する機関から提供されるものがよいでしょう。

スピーカー：

a. _____ b. _____

資料：

a. _____ c. _____

b. _____ d. _____

2. 小グループディスカッションのトピックを決定します。

- » 小グループディスカッションはセッショントピックに基づき、特定の題材について学習を深める機会をもたらすものにします。
- » 関連トピックとしては、病気と治療への対処方法、副作用、家族の問題、健康と運動、リクリエーション外出、癌支援や参考資料などが挙げられます。

ディスカッショントピック：

a. _____ c. _____

b. _____ d. _____

3. 小グループの活動を決定します。

- » 少グループの活動を通して、社会形成や当事者間のつながりを促します。また会食や祝日のお祝い、その他お祝い行事を含めます。

活動リスト：

a. _____ c. _____

b. _____ d. _____

進行役：

a. _____ c. _____

b. _____ d. _____



イベントでのボランティアの役割を割り当てます。

担当／役割	氏名	連絡先	留意事項
サポートグループリーダー			有資格の医療従事者または小児がんやサポートグループ運営に詳しいソーシャルワーカーで、イベント実行計画やボランティアの管理もできる人物とします。
ピアメンター			小児がん患者または小児がんの元患者の保護者で、サポートグループの環境に前向きで勇気づけられる姿勢を発信できる人物。
ボランティア管理者			参加者とクラブ会員権について対話できるボランティアを特定してください。
マーケティングリーダー			
イベント撮影者			宣伝目的でイベント写真の使用を計画する場合、参加者から署名入りの公開承諾書を受取る必要があります。
地域のパートナー/ 協力者			協力者には、がん科看護師、地元の癌キャンプ指導者、ソーシャルワーカー、学校心理士、小児がん基金、癌の影響を受けている家族のサポート機関が挙げられます。

ライオンズの人数	
レオの人数	
その他の人数	



事業を実現可能なステップに整理します。

サポートグループリーダーは、この用紙に記入して進捗を追跡できます。

ステータス	タスク	期限	タスクリーダー	ヒント
×	クラブに情報を伝える			クラブでイベントの情報伝達会議を開く
	イベント名/タイトルを作成する			
	企画委員会の結成			委員会でイベント参加者、活動、タスク、実行計画、フォローアップケアのプロセスを決定する
	潜在的なイベント協力者を特定する			
	予算案を作成する			
	資金調達（必要に応じて）			
	開催地、開催日時を決定する			
	地域で小児がんの影響を受けている子どもや家族を支援する団体に連絡をとり、対象者に参加を呼びかけてもらいます ヒント：招待者全員から、初回サポートグループの参加や、2回目移行の継続参加を得られるとは限りません。心配は無用です。もし20人のサポートグループを結成するつもりなら、最初に50人招待しましょう。			サポートグループの参加候補者を特定する際、地域の病院、癌治療施設、小児がんの影響を受けている家族の支援機関、青少年の癌患者にサービスを提供するキャンプ場などに支援を依頼できるかもしれません。またこれらの施設は、利用者にサポートグループの情報を共有したり、グループを宣伝する別の機会を提供したり、物資や資材を寄付したりすることもできます。
	宣伝/マーケティング計画を策定する			チラシ、デジタル版の資料などを用意するとよいでしょう。
	適切な保険に加入する			保険または補完保険の証書の要否については、監督官庁にご確認ください。 すべてのライオンズクラブに提供される一般賠償責任保険のポリシーの適用範囲に関する質問は、 http://lionsclubs.org/pib-en にアクセスして、プログラム保険冊子を確認してください。
	必要なボランティアを確保する			<ul style="list-style-type: none"> » ボランティアは、障がいを持つ人々と関わる際に地域の規制に準拠しなければなりません。また必要に応じて必要書類を確保します。 » このイベントの繊細な性質上、予定されたサポートグループ会合期間を通して同じボランティアが従事することが推奨されます。
	イベント計画の確定する			開始から終了まですべてのアクティビティの時間配分を記したスケジュールを作成します。
	イベント実施後に改善点を話し合う慰労会を企画する			検証質問を活用して話し合います。

事業の予算を決定します。

イベントの予算決定にはこのワークシートを利用できます。

説明	数量	費用	経費合計	現物提供/ 寄付	収入	残高
教育						
教材						
印刷費用						
専門サービス料金						
危機と物資						
会合用品						
活動用品						
施設レンタル料金						
マーケティング						
宣伝材料						
その他						
水／軽食（オプション）						



事業の成果を評価します。

イベント企画委員会を再召集し、成功を祝い事業報告を行います。

成果の評価			
事業評価			
18歳未満の奉仕者人数		非会員のボランティア参加人数	
18歳以上の奉仕者人数		奉仕総時間数	
ボランティアに参加したライオンの人数		事業の企画/資金調達に要した総時間数	
ボランティアに参加したレオの人数			
事業の検証			
1. 小児がんの影響を受けている親／保護者を対象とした月次のサポートグループを展開し、ディスカッションやプレゼンテーション、企画活動を通して励みとなる明るい環境を提供できましたか？			
2. 最大の成果は何ですか？			
3. 最も難しかったことは何ですか？			
4. このイベントを再び実施しますか？			
5. どこを改善しますか？			

親サポートグループのメリット

自分の子どもが癌の診断を最初に受ける時、多くの親はさまざまな感情を抱きます。そしてその感情は時の経過とともに変化していきます。それは、ショックや不安、拒絶、悲しみ、罪悪感、怒りであったりします。これらの感情を一切感じない場合もあります。親や保護者は、診断後は生活や家族とのバランスをとるためにストレスを内に抱え込みがちで、家族全員に影響を及ぼすことがあります。また親は、家族の他のメンバーからの乖離や孤立を感じる場合もあります。

小児がんの影響を受けている親を対象としたサポートグループにより、前向きで元気の回復につながるような当事者間の社会的サポート環境を提供することができます。当事者間サポートには次のような多くのメリットがあります：

- » 孤立感の軽減
- » コミュニティへの所属
- » ストレス解消
- » 思いやり
- » 生産的で意義ある会話
- » 自信と納得
- » セルフケアの重視
- » 実際の経験に基づいた便利な情報交換
- » 互いの子どもにとっての真の最大利益
- » ゲストスピーカーによる最新または適時の情報／資料提供
- » サポートと激励
- » 他社を支援することで得られる癒やしや苦痛に対する目的感

毎回のセッションで教育的トピックを話し合います。教育が共有されたら、親はそのトピックがどのように有益か、どのような効果が得られたか、現在抱えている問題の解決にどのように役立つかなど、自身の解釈を話し合います。

サポートグループの期間は数ヶ月から、必要な期間中継続することもできます。

サポートグループの成功は、参加者間で形成される関係性や、小児がん患者を世話する親にどのようにして前向きな展望をもたらすことができるかといった点にかかっています。

